



藤木しんや活動報告

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルスでは医療現場をはじめ、あらゆる業種で影響が続き、多くの人が非常にひっ迫した状況に置かれています。コロナと共生していく“withコロナ”の生活様式が当たり前になった現在ですが、まだまだ予断を許さない状況です。今一度、コロナと向き合い、国民一丸となって難局を乗り越えていきましょう。

今月に召集される第204回通常国会で、政府は最優先課題であるコロナ対策を盛り込んだ34兆円規模の令和2年度第3次補正予算案を提出し、1月中旬に成立する見込みです。また、農業関連でも、要件変更によって皆さまに混乱を招いた高収益作物次期作支援の財源確保、TPPなど大型通商協定の国内対策や畜産クラスター、産地パワーアップ事業などの予算の確保、需給緩和の懸念が非常に強まっている米の政策などが審議されます。食料安全保障の確立はもちろんのこと、コロナ禍でも揺るがない農業生産の基盤強化と、経営所得安定対策・国土強じん化を着実に進め、現場に寄り添った政策立案に向け、引き続き働き掛けていかなければなりません。

昨年11月の全国農政連推薦候補者選定委員会において、第26回参議院議員通常選挙全国比例区推薦候補者としてご決定をいただきました。また、全国の農政運動組織から多くのご推薦をいただき、誠にありがとうございます。直面する農政課題に対し、常に農家目線・JA目線での施策拡充を進め、唯一の専業農家出身の議員として明るい農業の未来を築いていくために全力で頑張ります。

参議院議員 藤木真也

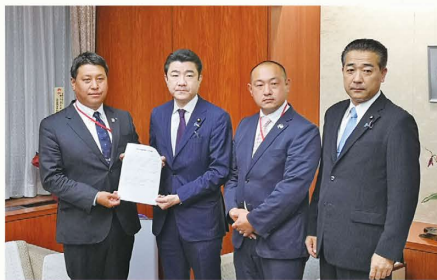


生産基盤強化へ

農家・JAの声を国政に



参議院農林水産委員会にて質疑



JA全青協 野上浩太郎農林水産大臣へ要請



畜産・酪農対策委員会事務局長として会議進行

農業理解醸成へ

積極的に対話活動展開



丸川珠代 党広報本部長と対談



自民党中央政治大学院ホーム対話講座



発起人として若手議員勉強会の開催